

鳴海周平の

ぶらり旅

奈良県編

「澄まず、濁らず、出ず、入らず、
蛙はわかず、藻は生えず、魚が七分
に水三分」

そんな七不思議が伝わる奈良
公園の猿沢池。ここから眺める興福
寺五重塔の美しさは、記念撮影の
定番にもなっています。

今回のぶらり旅は、昨春、奈良
でのお話を主催してくださった
奈良在住の桑山展子^{のぶこ}さんに一緒
いただき、初夏の奈良公園を散策
しました。



猿沢池からみえる五重塔は、聖武天皇の后・光明皇后が創建。現在の塔は室町時代に再建されたものだそうです。



高さ(座高?)15mの大仏様。元旦とお盆だけ開くという観相窓からも御顔を観ることができます。



みかさやま 御蓋山中腹の原始林に抱かれた春日大社。30万坪にも及ぶ敷地には、61の摂社・末社が行んでいます。

「私も主人も、出身は大阪なんですが、奈良とのご縁ができてから、この街が大好きになってしまってます。主人の仕事は大阪と京都なので、毎日1時間30分かけて通勤していますが…」

1300年も前に都が置かれ、当時花開いた天平文化が、今もなお文化財や伝統工芸、食文化として、たいせつに伝え続けられている歴史の街。駅からすぐの奈良公園にも、たくさんの名所があります。

「春日大社は今年で創建1250年を迎えました。平城遷都にあたって、常陸国(茨城県)の鹿島から武甕槌命を欲請して、都の守り神としたのが始まりだそうです。朱塗りの回廊と、灯籠も有名ですね」

回廊に揺れる釣灯籠と参道に並ぶ石灯籠、その数なんと3000基!! その時代の権力者から庶民まで、幅広い層から寄進されてきたのだ

そうです。時代も立場も超えた信仰心が、荘厳な祈りの空間をつくり上げているんですね。



奈良のぶらり旅をご一緒いただいた桑山友宏さん、展子さんとご夫妻。素敵な旅の思い出をどうもありがとうございました。

人と場所のご縁、そして、人と人のご縁のありがたさに、あらためて感謝の想いでいっぱいになった素敵な旅となりました。

「大仏様は、のべ260万人が関わって造られたそうです。これは、当時の人口の約半分。先祖を辿れば、かなり高い確率でなんらかの作業に参加していたと考えられます。奈良を訪ねた時に誰しもが感じる『なぜか懐かしい感覚』は、私たちの先祖から受け継がれているDNAの記憶なのかもしれませんね」

大仏様で有名な東大寺があるのも奈良公園。仏教を敬った聖武天皇の願いにより造立された大仏様は752年に開眼して以来、1300年近く奈良の顔として親しまれています。



夜になるとライトアップされる興福寺の五重塔。月とのコラボレーションも美しいですね。



常陸国鹿島から武甕槌命が白鹿に乗って来たと伝わることから、神の使いとしてたいせつにされている鹿。奈良公園には約1,200頭の鹿たちがいるそうです。

